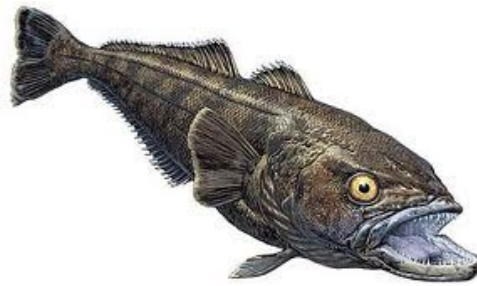


## マジェランアイナメ 南東大西洋

Patagonian toothfish *Dissostichus eleginoides*

(図版：SEAFO Stock Status Report より)

## 管理・関係機関

南東大西洋漁業機関 (SEAFO)

## 生物学的特性

- 最大体長・体重：雌 252 cm (全長)・雌 157 kg (全重量)
- 寿命：不明 (南極海域では 40~50 歳程度)
- 性成熟年齢：不明 (南極海域では雄 6~10 歳、雌 10~13 歳で 50% が性成熟する)
- 産卵期・産卵場：不明
- 索餌期・索餌場：不明
- 食性：不明 (南極海域では成魚期に魚類、イカ類、甲殻類)
- 捕食者：不明 (南極海域では海産哺乳類)

## 利用・用途

本種は切身(冷凍や解凍)として販売されるほか、みそ漬けや麩漬け等の加工品の原料としても利用されている。

## 漁業の特徴

本種は、底はえ縄船で漁獲され 2 種の漁法 (Spanish longline system 及び trotline) で操業が行われている。SEAFO 条約域における操業域は D 海域で 3 か所漁場がある (West、Discovery 及び Meteor)。主漁場は Meteor であるが、年により West または Discovery が卓越する。SEAFO 設立 (2003 年) 以降 2023 年まで底はえ縄船 1~3 隻が継続して操業している。2023 年までに操業を行った国は、日本、韓国、スペイン及び南アフリカである。

## 漁獲の動向

2003 年に最大漁獲量 393 トン、次いで多いのは 2011 年の 208 トンで、その他の年の漁獲量は 200 トン未満 (13~198 トン) で推移している (全期間の平均 114 トン)。2013 年以降は日本船のみが操業していたが、2020 年からスペイン船が操業を再開している。日本は、2021 年は COVID-19 の影響により、2023 年は船舶の故障により操業を行っていない。

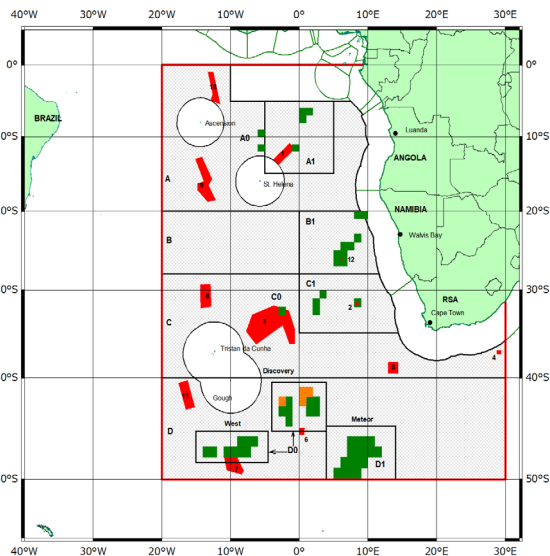
## 資源状態

現在までに資源評価が 2 回実施されたが、使用するデータの期間が短いこと及び標準化 CPUE の当てはまりが悪いという理由で合意が得られていない。しかし資源評価の結果は  $F$  が  $F_{MSY}$  よりかなり低いことを示唆しているため、科学委員会では過剰漁獲の発生は無いと考えられている。資源動向は HCR において最近 5 年間の CPUE が減少傾向にあるため減少と判断した。資源水準は、合意された資源評価の結果がないため不明。

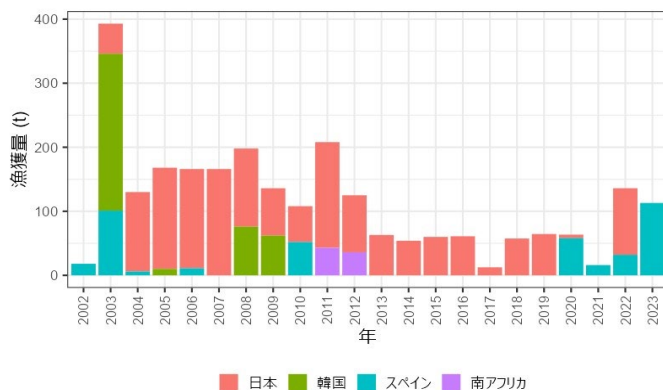
## 管理方策

保全措置 (CM30-15) に、底魚漁業、禁漁海域、VME を含む深海生態保全、開発漁業等の措置・規則が定められている。TAC 設定に関し、第 12 回年次会合 (2015 年) において科学委員会では合意された資源評価結果が無い場合、HCR で TAC を決定することが合意されている。2022~2023 年の TAC は、HCR により D 海域 261 トンが 2021 年の第 18 回年次会合で採択された (CM-TAC-01-2021)。2023 年の科学委員会・年次会合において、2024 年も 261 トンの TAC を継続することに合意した。その他の管理方策には、CM04-06 (サメ類保全)、CM14-09 (海亀類保全)、CM25-12 (海鳥類保全) 等がある。

マジェランアイナメ（南東大西洋 SEAFO 条約海域）の資源の現況（要約表）	
世界の漁獲量 (最近 5 年間)	16~136 トン 最近 (2023) 年: 113 トン 平均: 79 トン (2019~2023 年)
我が国の漁獲量 (最近 5 年間)	6~104 トン 最近 (2022) 年: 104 トン 平均: 58 トン (2018~2022 年。2021、2023 年は操業無し)
資源評価の方法	Y/R 解析、体長コホート解析及びプロダクションモデル (ASPIC)
資源の状態 (資源評価結果)	過去に 2 回、Yield Per Recruit (Y/R) 解析、体長コホート解析、プロダクションモデル (ASPIC) を用いた資源評価を行ったが、使用するデータの期間が短く、標準化 CPUE のノミナル CPUE への当てはまりも悪いという理由で結果は合意されていない。 資源解析の結果や近年の漁獲量の推移から、漁獲死亡係数 (F) が $F_{MSY}$ より低いため過剰漁獲の発生は無いと考えられている。 資源水準: 不明 資源動向: 減少 (HCR において CPUE が負の傾きを示すため)
管理目標	HCR に基づく TAC (2022~2024 年) (D 海域: 261 トン、その他の海域 0 トン)
管理措置	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 底魚漁業、禁漁海域、VME を含む深海生態保全、開発漁業等の規則</li> <li>● D 海域における 2022~2023 年 TAC: 261 トン</li> <li>● サメ類保全措置</li> <li>● 海亀類保全措置</li> <li>● 海鳥類保全措置</li> </ul>
管理機関・関係機関	SEAFO
最新の資源評価年	2013~2014 年 (結果の合意なし)
次回の資源評価年	未定



SEAFO 条約海域（網目海域）とマジェランアイナメの主漁場（D 海域の West、Discovery 及び Meteor）  
A~D は Division。緑は既存漁場（全漁法）（15 か所）。赤は禁漁海域（11 か所）（但し、海域 12 は着底トロールのみ禁漁）。オレンジは開発漁業で既存漁場に変更された漁場（但し、底はえ縄漁業のみ）（2 か所）。その他の海域は、新漁場。



SEAFO (D 海域) におけるマジェランアイナメ国別漁獲量 (トン) の推移 (2002~2023 年)  
(SEAFO は 2003 年に設立)